

きしわだ 議会だより

令和7年8月1日 発行

編集：「議会だより」編集委員会
発行：岸和田市議会
〒596-8510 岸和田市岸城町7-1
☎072-423-9665



昭和50年1月1日創刊より半世紀を迎えました

令和7年
第2回
臨時会

第2回臨時会(会期5月15日～16日の2日間)では、令和7年度一般会計予算案が賛成多数で、また、令和7年度病院事業会計予算案が満場一致で可決されました。これらの予算案は、第1回定例会で

令和7年度一般会計予算案などを可決

それぞれの予算案が否決されたことを受けて再提出されたものです。また、副市長の選任について同意を求める議案を審議し、満場一致で可決されました。

令和7年
第2回
定例会

佐野新市長の施政方針に基づく補正予算案及び 関連諸議案を可決

第2回定例会では、市長の政治倫理に関する条例を制定するための議案など20件の議案を審議しました。また、再審法改正に向けた速やかな議論を求める意見書など4件の意見書を議員から提出し、可決しました。このほか、総括質問では7人、一般質問では15人の議員が市の重要課題に対して見解をただしました。



定例会の概要

- 会期 6月23日～7月4日の12日間
- 本会議1日目(6月23日)
 - 監査結果、専決処分などの各報告、令和7年度補正予算案及び関連議案の上程、市長の施政方針演説、総括質問
 - 本会議2日目(6月24日)
 - 総括質問、各常任委員会へ付託、財産取得などの議案の上程、各常任委員会への付託、一般質問
 - 本会議3・4日目(6月25・26日)
 - 一般質問
 - 文教民生・事業・総務常任委員会(6月27日～7月1日)
 - 所管事務の報告、付託議案の審査
 - 庁舎建設特別委員会(7月2日)
 - 所管事務の報告
 - 予算常任委員会(7月3日)
 - 付託議案の審査
 - 本会議最終日(7月4日)
 - 議案第60号の撤回、付託議案の審査結果報告、討論、採決、監査委員の選任
 - 意見書(市議案第4～7号)の上程、採決



予算常任委員会 補正予算案を審査

- 施政方針で示された「岸和田をよくなるための4本柱」である市政の正常化と信頼回復、教育福祉の充実、地域経済の活性化と雇用創出、防災・安全なまちづくりなどに基づいた補正予算案を審査しました。主な事業内容は、次のとおりです。
- 牛ノ口公園運動広場のリニューアル改修
 - 令和7年8月から令和8年3月までの市立小中学校給食費無償化
 - 農業者が農薬等を購入できるクーポン券の支給
 - 漁場予測システム導入などに取り組むデジタル水産業戦略拠点整備推進事業の推進
 - 市内雇用促進のためのオフィス誘致補助金
 - フィルムコミッション設立に向けた費用
 - きしわだソウルフードコンテストの開催費
 - だんじり祭開催時のスマートゴミ箱の設置
 - がん患者のピアアランスケアのための医療用ウィッグ等の購入費用の一部助成
 - 都市公園のバリアフリー改修工事費
 - 田治米畑町線の整備費 ほか
- 採決の結果、一般会計補正予算案(21億452万3千円)、介護保険事業特別会計補正予算案(878万4千円)、下水道事業会計補正予算案(6046万7千円)が満場一致で可決されました。



意見書を可決

議員提出により可決した意見書4件を関係機関に提出しました。意見書の詳しい内容は、下記のQRコードを読み取り、ご覧ください。



第2回臨時会および第2回定例会 賛否が分かれた議案

公…公明党 / 共…日本共産党 / フォ…無所属フォーラム / に…にじの会 / 未…きしわだ未来 / 次…次世代政策会議 / 維…大阪維新の会 / 無…無所属クラブ
○…賛成 ×…反対 / ※議長は表決しません

議員名など ※議員名上段は議席番号 下段は会派名略称	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	結果
	小西未	永野無	藤原維	中岡維	高比良に	河合に	海老原共	昼馬才	田中共	殿本に	反甫未	宇野才	烏野未	南公	井舎才	友永公	西田次	桑原公	岩崎公	米田公	京西次	松本公	中井共	岸田共	
議案第37号 令和7年度岸和田市一般会計予算	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	可決
議案第45号 岸和田市立幼保連携型認定こども園条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	×	×	可決
議案第59号 監査委員選任につき同意を求めるについて(藤本一善氏)	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	議長	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
市議案第4号 選択的夫婦別姓制度の法制化に関する議論を求める意見書	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
市議案第6号 緊急避妊薬を全面的に薬局販売(スイッチOTC化)し、必要とする全ての人のアクセスを保障するよう求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×		○		○	×	○	○	○	×	○	○	○	可決

■発言順に掲載しています。

総括質問(要旨)



中井 良介 (日本共産党)

！前市政時の行財政改革プランの見直しを求める



①前市長の下でトップダウンでつくりられ、市民には意見を述べる機会も保障されずに実行されてきた。
 ②職員の削減と非正規職員への置き換え、給与カットが繰り返されてきた。職員の仕事量は増えているが、減らされた職員でこなしている。職員は市の財政のコストではなく財産であると指摘した。
 ③市の基金は現在72億円あり、平成30年の台風の被害やコロナ禍にも対応してきた。行財政改革プランではさらに約30億円積み上げる計画だが、市民のための施策に充てるよう求めた。



宇野 真悟 (無所属フォーラム)

！施政方針について



①物価高対策については、広く市民全体を対象とする施策を要望する。
 ②幼稚園・保育所の再編については、民間が開設しない場合は公立園の増設も検討すること。
 ③小中学校の再編については、職員だけでなく専門家も加え、学校と地域の未来を考える場を設けること。
 ④新庁舎建設については、設計施工分離方式とし、周辺の道路整備など街づくりについても積極的に取り組むこと。
 ⑤泉州山手線・山直東地区の街づくりについては、地域の皆様と丁寧な調整を行い、計画の推進に努めること。
 ⑥地域主体の交通手段の確保については、市内の他の地域でも同様の問題があるので、積極的に情報共有や実証運行を行うことを求める。



岩崎 雅秋 (公明党)

！施政方針について



①市長倫理条例については、市民からの信頼を勝ち取り、さらなる岸和田の発展を要望する。
 ②タウンミーティングは、各小学校区一回ずつに終わらず定例化を要望する。
 ③子育て世帯訪問支援事業・幼稚園の閉園基準・小中学校の適正化については、市民への丁寧な説明と対話を要望する。
 ④日本一のスポーツのまち岸和田をめざし、活力ある岸和田創出を求める。
 ⑤泉州山手線と市内全域の道路整備について地元雇用の創出、若手人材の転出抑制、防災面の向上のためにも一日でも早い完成を求める。
 ⑥市役所庁舎跡地活用について周辺も含めたランドデザイン構築を求める。
 ⑦ローズバスのルートは、今後も必要に応じて改善すべし。



京西 且哲 (次世代政策会議)

！市役所の組織風土を変える意識改革を



●新しい市長の新年度が始まるが、施政方針で最重要課題に掲げられたのはやはり「行財政の健全化」である。平成13年の行財政健全化アクションプランから約25年間取り組んだが、同じ歴史を繰り返している。外部有識者の行財政改革検討委員会は、市役所の組織風土を変革する職員の意識改革が必要と指摘している。また、他市と比較し、保育所、幼稚園、高等学校の関係職員や技能労務職員が非常に多い。一方で、本庁29人、病院40人もの職員が不足している。適切な職員配置を行い、早期退職者や採用内定後の辞退者が多い理由を明らかにし、早急に対策を講じるべきである。市民生活を支える行政組織の強化を求める。



中岡 佐織 (大阪維新の会)

！令和7年度施政方針について



●次のとおり要望した。
 ①市民との信頼関係をさらに深めていくために、政治倫理の維持、市民の声に耳を傾ける姿勢を。
 ②オフィス誘致による市内産業の振興と地域経済の活性化に、引き続き取り組むこと。
 ③本市における人口減少への対応という観点からも極めて重要である交通インフラの整備と沿道のまちづくり、企業誘致を一体的に推進すること。
 ④市立幼稚園・保育所の再編について、保護者や現場の声をよく聞くこと。
 ⑤スポーツ振興について、岸和田ならではの特色ある取り組みを。
 ⑥観光振興において岸和田の「食」の魅力を活かすこと。
 ⑦防災Jアラートについては市民一人ひとりに正確な情報を確実に届けること。



高比良 正明 (にじの会)

！市長選での虚偽公約を断罪する



●具体的な施政方針で、審議するまでもない内容と指摘。
 ①市長選で「毎年60億円と基金から百億円が使える」と喧伝していたが、数字の捏造で、今年21億円と基金29億円の不足と判明。
 ②市長宣伝のため、給食費無償化だけに国の物価高騰交付金を4分の3も流用。
 ③差別主義者やヘイトの問題は起きないと、被害者に無関心な差別を助長する答弁。
 ④市長倫理条例は、私の提案した同条例よりも甘すぎる内容。
 ⑤学校統廃合など各種問題は先送り。これらの謝罪を要求しても、市民・議会に真摯に対応しない態度に傍聴者も怒り心頭と察します。選挙時から市民にデマを説明し、開き直るなら、不信任決議を提出するしかありません。



反甫 旭 (きしわだ未来)

?日本一のスポーツのまち岸和田について



●問まだまだ、スポーツをする環境が整っていないと考えるが、今後の社会体育施設をどのように整備していくのか。また、今後の部活動地域移行はどういう取り組みを考えているのか。
 ●答社会体育施設については、岸和田市立社会体育施設再編基本方針に基づく施設の再編と並行し、市民スポーツの充実・発展に向けた施設整備・改修を進めていく。また、部活動の地域移行については、令和5年度から始まった実証事業を通じて、本市はいち早く取り組みを進めてきたが、7年度は4つの中学校で6つの部活動を対象とし、中学校の校区を越えた合同クラブ活動等を実施する予定である。

9月定例会の日程(予定)

開催日	会議名
8月26日(火)~28日(木)	本会議
9月1日(月)	文教民生常任委員会
2日(火)	事業常任委員会
3日(水)	総務常任委員会
4日(木)	庁舎建設特別委員会
5日(金)	予算常任委員会
8日(月)	本会議
9日(火)~11日(木)	決算常任委員会
16日(火)~17日(水)	決算常任委員会
19日(金)	本会議

- 開会時間は午前10時の予定です。
- 傍聴される方は、当日、市役所新館3階議会受付へお越しください。
- 本会議を、テレビ岸和田、ラヂオきしわだで放送します。詳細は各放送局のウェブサイトをご確認ください。また、委員会は市議会ウェブサイトで生中継します。

■議員の質問文については、本人の意思を尊重し、掲載しています。

一般質問(要旨)



！「不登校」の現状及び取り組み、国民健康保険について



①「不登校」は、さまざまな理由で心が折れた状態にある子どもが、学校や社会のなかで違和感を抱え、傷つき、我慢に我慢を重ねた末に、登校できなくなる。不登校を「心の傷」ととらえたとき、不登校の親同士が情報交換できるネットワークの構築を進めること。本人の心理的負担の形成に直結する学校の在り方と、そこにおける集団の在り方にも着目し、先生がゆとりをもって、子供たちに接することができ環境をつくること。
②国民健康保険における資格確認書の取り扱いについては、マイナ保険証のトラブル等から資格確認書の全員交付に向けた検討をすること。



！ふるさと寄附の見直し、消防職員の高齢化について



①ふるさと寄附については、市の財源を確保するため専門部局を設け、研究所兼返礼品販売所を他所に設置し、コンサルと職員数名で日々研究開発営業PR販売促進してはどうか。魅力ある返礼品を開発し、商品を掲載する際は他にないキャッチコピーを付けるなどして他の自治体よりよい良い返礼品に映るような工夫をしていただきたい。早急を実現できるように要望した。②消防職員の高齢化については、定年延長制度開始に伴い、災害現場での活動が主となる消防職員の高齢化が進むと予想される。加齢に伴う体力低下や消火力低下は、今後の課題といえるので若手職員を増やし、研修など実施し能力向上に努めることを要望した。



！小中学校における支援介助員の増員について



①今年度特別支援介助員は7名の増員だが、各小中学校に1名配置できるようさらなる増員を要望。②平成30年台風21号で飛んだ葛城中学校渡り廊下の屋根の修復を再度要望。③火葬場使用料補助金を新斎場完成後も継続とし、身寄りのない方のお骨の対応を要望。④水道道流木交差点の歩道の設置を要望。⑤東葛城校区の円滑な汲み取りと汚水整備計画の推進を要望。市全体計画において令和18年度までに統廃合をめざす方針を確認。⑥ゆめみヶ丘防災センターの完成による東葛城、山滝校区の防災・減災について言及。⑦心技館の今後の市長の展望について、庁舎移転に際しお城や二の丸広場も含めての検討、移転まで現状維持を確認。



！非常用電源の整備による避難所と学校の安全確保について



●避難所における電源確保は命を守るうえで不可欠であるが、市の保有分は少なく、64カ所の指定避難所のうち停電時に空調が稼働する施設はわずか10カ所、小中学校においてはゼロであった。授業中に災害が発生し停電した場合、児童を安全に待機させられる環境とはいえず、体育館は住民にとっても避難所となる重要な施設であるため、本市へ早急な対応を求めた。国から避難所の設備強化が求められるなか、近隣市でも整備が進んでいる状況を鑑み、当初は「安全が確保されている」とした市の見解が、「児童の安全確保は責務で、非常用電源の常備は有効とする」に変わり、今後の課題として調整・協議を進めていくことを確認した。



！みんな泳げるプロジェクトの現状と今後の取り組み



●みんな泳げるプロジェクトは、児童生徒が泳力を身につけるとともに、水の事故から自分の命を守ることができるよう身につけることを目的としているとのことだが、実施時間や回数を昨年度並みかそれ以上に充実させて、目的である泳力の向上等につなげる取り組みをしていただきたい。「泳げる」ということは、子どもたちの身体だけではなく心も鍛え、心を豊かにするものである。屋内プールの整備が完了するまでは、市民プール利用校にインストラクターを派遣することを要望する。また、子どもたちみんなが泳げ、泳ぐことが楽しくなる取り組みになることを期待し、さまざまな課題を解決していくことを要望する。



！防災意識の向上と山手地域の環境保全について



①発災時の初動体制は災害規模の拡大に関わるため、平時より公助・自助が協力し合う取り組みで防災から減災への流れを構築すべき。公共施設では、迅速に避難誘導できるような行動マニュアルを作成し全職員に周知徹底すること。市民センター等利用の中心者による発災時の注意喚起に取り組むことで、共助への協力と災害リスクの未然防止を図ること。②再生資源物は有価物であるが、自然豊かな環境保全と整合性を保つよう適切な管理運営が必要である。法令許可等を管轄する大阪府に対し、再生資源物の屋外保管に関する条例制定を要望し、本市条例の自然環境調査員への委嘱により不適正事案の発見、未然防止の強化を求める。



！東京2025デフリンピック、こどもの居場所



①きこえない・きこえにくい人のためのオリンピック、デフリンピックが日本で初めて開催される。百年の歴史ある大会を通じ、聴覚障害者の文化や合理的配慮の理解を進めるとともに、障害の有無にかかわらずスポーツができる環境の整備を求めた。また、新たに制定された「手話施策推進法」の下、当事者とともに取り組みを推進するよう要望した。
②こども食堂など、こどもの居場所はこどもの貧困問題がきっかけであったが、いまや地域の交流の場、コミュニティの場となっており、拡充が求められる。国の「こどもの居場所づくりコーディネート配置等支援事業」などを活用し、こどもの権利を守り誰ひとり取り残さない支援体制の構築を要望した。



？加齢性難聴の補聴器補助について



問 補聴器は、加齢性難聴に悩む高齢者の「聞こえ」を補い、日常生活を支えているが、軽度・中等度の場合、高価な購入費への国の支援がないため、使用をためらう人も多い。重度でなくても、難聴を放置すれば孤立化や認知症のリスクが高まると考えられ、市独自の補助を要望するが見解は。答 高齢者が補聴器を利用することで、孤立化や認知症の予防につながるが、本人の心身の健康が維持されることが考えられる。また地域で活躍されていたが、コミュニケーションの取りづらさにより、活動に消極的になり、一線から引退するといった方もおられる。今後は先行して実施している市町村の状況を調査し、前向きに検討していく。



！総合計画について、公民館、青少年会館の再編について



①総合計画は、市の最上位計画であり、市長の公約と連動させるべく、計画期間が設定されている。今回、前市長の失職に伴い、市長の任期が約1年前倒しとなったため、総合計画の内容と期間について再検討すべきである。
②「公民館及び青少年会館再編第1期実施計画」の期限は、令和7年度末としているなかで、「実施期間中にできるだけ早期に廃止する」としている施設のうち、計画通りに進んでいるのは、光陽地区公民館のみである。春木地区公民館、久米田青少年会館については、期限までに協議がまとまらない場合でも、閉館・廃止をせずに協議を継続するという考えを確認した。

きしわだ議会だより

一般質問 (要旨)

●部活動の地域移行を進めるにあたり、教育委員会、教員保護者、民間クラブ事業者など、関係する方々との意思疎通や、その目的を共有し、共通認識に立つことが重要である。しかし、本市では、それらを検討する協議会が未設置であるため、まずは今年度中に関係者らで構成する連絡会を設置すべきである。そのうえで、協議会へと発展させ、地域移行の基本方針、推進計画、ロードマップを作成すべきである。また、家庭の経済状況に左右されず、希望する部活動を主体的に選択できるようにニーズ調査も含めた環境整備を行い、地域移行後も、円滑に継続して活動できるように取り組むことを求める。



米田 貴志 (公明党)
その他の質問 ○市長の名を冠する大会などについて

部活動の地域移行について



①ペット同行避難マニュアルが完成したが、市民の認知度は低い。訓練を通じて、市民への周知も広げると考える。また、災害時にご協力をいただける民間企業や団体との連携も重要である。同行避難の周知活動と避難所の環境整備を進めながら、他市町との広域連携、企業や動物愛護団体との提携拡充等で、ペットの防災対策を進めるべきである。②自転車用ヘルメット着用の啓発については、本市職員が率先して着用するなど模範的な取り組みが必要である。また、ヘルメットの購入費補助の対象者については、13歳未満の子どもがいる家庭の方なども対象とするなど、より啓発を進め、着用率が増えるよう努めるべきである。



友永 修 (公明党)

ペット同行避難、自転車用ヘルメット着用の啓発について



議員の質問文については、本人の意思を尊重し、掲載しています。



海老原 友子 (日本共産党)

補聴器補助、こども誰でも通園制度、動物愛護について



①加齢性難聴に対する補聴器購入費補助制度は、市民要求が強く、共産党は3年越しに要望している。近隣市でも実施は増え、今では全国464自治体で実施。このような情勢を受け、また、補聴器の効果も認め、前向きに検討するとの答弁を受けた。②こども誰でも通園制度は、こども家庭庁の令和8年度全国実施を受け、本市でも取り組みが進められている。多くの問題を抱えていることから、見送りも含め、実施にあたり現行の保育環境の後退がないよう訴えた。③動物愛護の問題はいのち・福祉・教育と深い関係がある。地域猫活動の理解は不十分で補助もなく私費での活動である。啓発・補助等行政の積極的な支援を要望した。

●友永議員の避難場所へのペットフード支援について、現在輸送方法を交渉中で、2015年にまで後退するかの質問は控えるように諭した。①学校への生理用品設置が途絶えており、市長に「直ちに設置せよ」と一喝！②160億円の埋蔵金との虚偽市長公約を正す③人口増のため、幼保・学校統廃合でなく、産業文教地区を提言④虐待動物への警察通報、現場確認を条件付きながら行う。行方不明動物はICチップ照合⑤選択的夫婦別姓でなく、旧姓併記のごまかしで、全国で二百億円のシステム改修の税負担⑥プレコンセッションケアは女性を「二足歩行する子宮」一産む機械」と考え、ナチを起源とする優生保護法の延長と指摘



高比良 正明 (こじの会)
その他の質問 ○生活保護申請行方、要請等記録制度について

市長公約と、就任後の不備を指摘



①現在、女性が社会進出し労働時間や働き方など男女差なく働くようになってきている。しかし、まだまだ子育てや介護を担うことが多い。政府も「女性に選ばれる地方」を実現することが急務であると女性躍進に重きを置いている。本市においてもその点を重視し、男女共同参画が充実したものにすることを期待する。②公共交通機関の利用者の減少や乗務員不足、高齢者による運転免許証の返納増加など、公共交通を取り巻く環境は厳しさを増している。本市においても公共交通の空白地が存在する。早期に市民生活などの活性化を支える持続可能な交通となるように取り組むことを要望する。



殿本 マリ子 (にじの会)

男女共同参画社会への方針、自動運転による地域活性化



①全国的に米価格が高騰している状況のなかで、市の支援が行き届いていない層がある。また、個人のみではなく、飲食店・米穀店等の事業者にも深刻な影響が出ている。こうした状況を受け、「お米クーポン」などを通じて、家計支援と地域経済の両立を図る取り組みの必要性を訴えた。②現在、広く活用されている指定管理者制度は、制度開始から20年が経過し、成果や地域貢献が見えにくいなどの課題が顕在化するなかで、成果報酬型の民間委託契約である「PFS (成果連動型民間委託契約方式)」の導入について、その有用性を伝え、市の認識と今後の検討体制を確認した。



藤原 豊和 (大阪維新の会)

コメ価格高騰への対応、PFS活用による公共サービス向上



第2回臨時会および第2回定例会

全会一致で可決した議案

議案番号	件名
議案第36号	専決処分の承認を求めるについて
議案第38号	令和7年度岸和田市病院事業会計予算
議案第39号	副市長選任につき同意を求めるについて (藤浪秀樹氏)
議案第40号	岸和田市長の政治倫理に関する条例の制定について
議案第41号	岸和田市附属機関条例及び特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について
議案第42号	岸和田市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例等の一部改正について
議案第43号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について
議案第44号	岸和田市市税条例の一部改正について
議案第46号	岸和田市葬儀条例の一部改正について
議案第47号	岸和田市墓苑条例の一部改正について
議案第48号	岸和田市廃棄物の減量化及び適正処理に関する条例の一部改正について

議案番号	件名
議案第49号	岸和田丘陵地区地区計画の区域内における建築物等及び緑化率の制限に関する条例の一部改正について
議案第50号	岸和田市都市公園条例の一部改正について
議案第51号	岸和田市水防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正について
議案第52号	令和7年度岸和田市一般会計補正予算(第1号)
議案第53号	令和7年度岸和田市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)
議案第54号	令和7年度岸和田市下水道事業会計補正予算(第1号)
議案第55号	訴えの提起について
議案第56号	財産取得について (GIGAスクール構想に伴う岸和田市立小中学校学習者用タブレットPC端末(共同調達分))
議案第57号	財産取得について (災害対応特殊救急自動車)
議案第58号	町の区域の変更及び町の新設について
市議案第5号	再審法改正に向けた速やかな議論を求める意見書
市議案第7号	片目失明及び片耳難聴を障がい認定するよう求める意見書



政策討論会を開きます

政策討論会とは

市政に関する重要な施策について共通認識を醸成するとともに、政策水準を高めるため、活発な意見交換を行うことを目的とした討論会です。

- 第一分科会 バイエリアのリノベーションについて
- 第二分科会 学校給食で地産地消を進めるには
- 第三分科会 郷土愛について

開催日	時間
8月12日(火)	午前10時
10月7日(火)	午前10時
10月21日(火)	午前10時

●傍聴される方は、当日、市役所新館3階 議会受付へお越しください。

●これまでに行われた、各分科会の要点記録は政策討論会のページでご覧いただけます。

